

第 138 回熊本麻醉学会 プログラム

令和 2 年 1 月 25 日 (土)

会場：セレクトロイヤル八代

世話人：熊本労災病院

熊本麻醉専門医会

第 138 回熊本麻酔学会プログラム

日時: 令和 2 年 1 月 25 日(土)

場所: セレクトロイヤル八代 2 階「ロイヤルホール」

八代市本町 2 丁目 1-5 TEL: 0965-34-1111 FAX: 0965-34-1118

9:45~10:10 熊本麻酔専門医会役員会(会場: セレクトロイヤル八代 2 階 桐の間)

10:10~10:30 関連病院部長会(会場: セレクトロイヤル八代 2 階 桐の間)

学術講演会時間割(会場: セレクトロイヤル八代 2 階「華の間」)

10:40~10:45 開会の辞 熊本麻酔専門医会会長 定永 道明

10:45~11:45 セッション I (6 題): 症例・合併症

12:00~13:00 ランチョンセミナー

13:15~14:15 セッション II (6 題): 看護・手術室の環境

14:25~15:15 セッション III (5 題): 心臓手術

15:25~16:25 セッション IV (6 題): 臨床研究・シミュレーション

16:35~17:25 特別講演

17:25~ 閉会の辞 第 138 回熊本麻酔学会会長 橋本正博

17:45~ 新年会 (会場: セレクトロイヤル八代「星の間」)

学術講演プログラム

10:40~10:45 熊本麻酔学会開会の辞 熊本麻酔専門医会会長 定永道明

10:45~11:45 セッション I : 症例・合併症

座長: 熊本大学病院麻酔科 磯部 直史

1) 色素性乾皮症患者の麻酔経験

熊本労災病院 麻酔科¹⁾、中央臨床工学部²⁾

石原旭¹⁾、嘉悦昌吾²⁾、奥貴亮¹⁾、桑原麻菜美¹⁾、小野田昌弘¹⁾、山部典久¹⁾、橋本正博¹⁾

2) 臍頭十二指腸切除術中に異常高血圧をきたした一例

熊本中央病院 麻酔科

中嶋健、飽田久扇子、大吉貴文、棚平千代子、前川謙悟

3) フォンタン手術後患者の麻酔管理に神経ブロックが有用だった一例

熊本市民病院麻酔科

井上由季子、樋口拓志、春田佳代子、梶原那美恵、矢津田麻里

4) 今年度当院で発生した術中肺塞栓症 2 症例についての検討

国立熊本医療センター麻酔科

森永真矢、奥野勇輔、光田祐樹、清水和子、宮崎直樹、古庄千代、瀧賢一郎

- 5) 前頸部巨大腫瘍による気道狭窄に対して、VA-ECMO 下に気管挿管を行った 1 症例
熊本大学病院 麻酔科
林正清、中島拓郎、江嶋正志、成松紀子、鷺島克之、山本達郎
- 6) 好塩基球活性化試験(BAT)は局麻薬アレルギーの予想に有用かもしれない
慈恵病院 麻酔科
志茂田治

12:00～13:00 **ランチオンセミナー「オピオイド逆風下の術後疼痛管理を一考する」**
演者:川崎医科大学 麻酔・集中治療医学 1 教授 佐藤健治
座長:熊本大学医学部附属病院麻酔科 教授 山本達郎
共催:丸石製薬株式会社

13:15～14:15 **セッションⅡ:看護・手術室の環境**

座長:熊本総合病院麻酔科 谷本 宏成

- 7) 手術室看護師の仕事に対するモチベーションの現状
労働者健康安全機構熊本労災病院 手術室
坂本ますみ、上田陽子、島田沙由子、宮本郁子、佐藤真奈美、松本春美
- 8) 手術室看護師の手術退室時申し送りの実態調査
労働者健康安全機構 熊本労災病院 手術室
田中朋美、川端智子、桑村美穂、前田亜希子、坂本ますみ、松本春美
- 9) 手術室における内シャント保護具の製作～3D プリンタを利用した臨床工学技士の関わり～
熊本大学病院 医療技術部 ME 機器技術部門⁽¹⁾中央手術部⁽²⁾麻酔科⁽³⁾
今山史教⁽¹⁾、吉富晃子⁽¹⁾、川上三郎⁽²⁾、田邊菜穂子⁽²⁾、生田義浩⁽²⁾⁽³⁾、山本達郎⁽¹⁾⁽³⁾
- 10) 気管挿管前のマスク換気に伴う吸入麻酔薬による手術室内環境汚染を低減させる工夫
熊本大学医学部附属病院
篠塚 大、長濱 志帆、生田 義浩、山本 達郎
- 11) 熊本市民病院の移転前準備
熊本市民病院 麻酔科
樋口拓志、春田佳代子、井上由季子、梶原那美恵、矢津田麻里
- 12) 熊本市民病院の手術再開時の問題点
熊本市民病院 麻酔科
樋口拓志、春田佳代子、井上由季子、梶原那美恵、矢津田麻里

13:30～14:20 **セッションⅢ:心臓・大血管**

座長:熊本赤十字病院麻酔科 棚平 大

- 13) 左室内血栓除去術の麻酔導入後に TEE(経食道心エコー)で血栓消失を認めた 1 例
熊本赤十字病院 麻酔科
岩村一輝、棚平大、加藤麻衣、坂本真由、樋口直子、古閑匡、佐土原友弘、定永道明
- 14) 抗リン脂質抗体症候群患者に対する開心術中の抗凝固管理
熊本大学病院 麻酔科
植村友美子、隈元泰輔、川野兼士朗、平岡知江子、山本達郎

- 15) 上行大動脈置換術における逆行性脳灌流の検討
熊本大学病院 医療技術部 ME 機器技術部門¹⁾ 麻酔科²⁾ 中央手術部³⁾
吉富晃子¹⁾、内野洋平¹⁾、小原大輔¹⁾、平岡知江子²⁾、隈元泰輔³⁾、山本達郎²⁾
- 16) 局麻 TAVI はじめました。
熊本大学病院中央手術部¹⁾ 麻酔科²⁾
隈元泰輔¹⁾、林正清²⁾、平岡知江子²⁾、山本達郎²⁾
- 17) 心臓血管外科麻酔の安全で効率的な教育を目指して
熊本大学病院中央手術部¹⁾ 麻酔科²⁾
隈元泰輔¹⁾、林正清²⁾、平岡知江子²⁾、山本達郎²⁾

15:25～16:25 セッションⅣ：臨床研究・シミュレーション

座長：熊本中央病院麻酔科 前川 謙悟

- 18) 人工股関節置換術において回収式自己血輸血が効果的に施行される症例の検討
熊本大学病院 麻酔科
中村勇貴、平岡知江子、隈元泰輔、植村友美子、石村達広、山本達郎
- 19) 超音波胃内容量評価法における有用な体位の検討
熊本大学病院麻酔科
坂田 優、杉田道子、小川舜也、山本達郎
- 20) 全身麻酔下食道悪性腫瘍における、側臥位手術中の SpO₂ と術後 ICU 在室日数の相関
熊本大学病院麻酔科¹⁾、中央手術部²⁾
是松伸之介¹⁾、添田賢造¹⁾、石村達広²⁾、山本達郎¹⁾
- 21) 全身麻酔下食道悪性腫瘍手術における、観血的動脈圧と術後在院日数の関係
熊本大学病院麻酔科¹⁾、熊本大学病院中央手術部²⁾
大石 将之¹⁾、石村 達広²⁾、山本 達郎¹⁾
- 22) 気管挿管における「利目」と「立ち位置」の関連性
くまもと森都総合病院麻酔科
中村孝英、橋口清明、大津哲郎、田口裕之
- 23) シミュレーターを用いた超音波ガイド下中心静脈穿刺の検討
熊本大学病院 麻酔科
添田賢造、洲崎祥子、生田義浩、山本達郎

16:35～17:25 特別講演

座長：熊本労災病院麻酔科 橋本正博

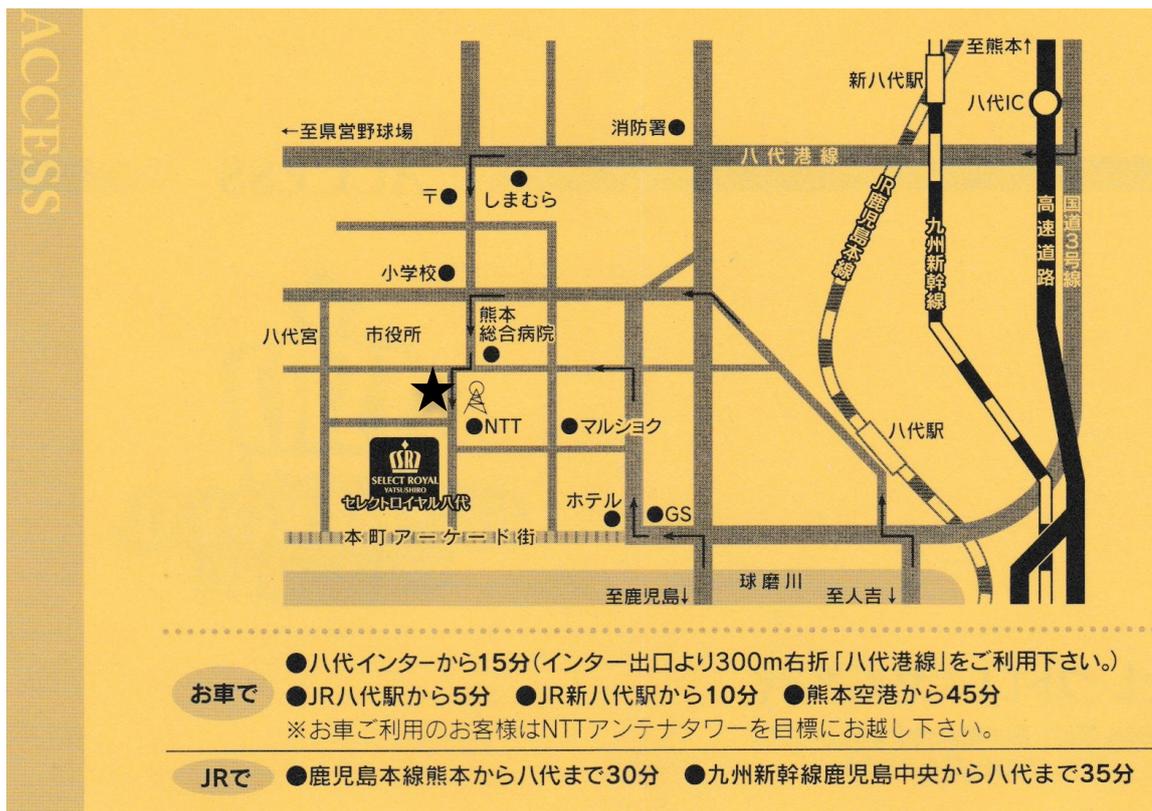
演題：熊本赤十字病院 PICU の現状 -小児医療における PICU の役割-

演者：熊本赤十字病院こども医療センター 平井克樹

17:25～ **閉会の辞** 第 138 回熊本麻酔学会会長 橋本正博

17:45～ **新年会** (会場：セレクトロイヤル八代 2 階「星の間」 会費：5000 円)

●交通アクセス セレクトロイヤル八代までのご案内



●自家用車でお越しの方は、セレクトロイヤル八代の専用駐車場もしくは熊本総合病院の駐車場(上図★印：21時まで無料解放)をご利用ください。

●JR を利用した場合

JR 熊本駅から JR 新八代駅まで新幹線で約 12 分

新八代駅からタクシーで約 10 分

市内循環バス(みなバス右廻り、西口より発着)で 21 分

JR 八代駅からタクシーで約 5 分

市内循環バス(みなバス右廻りもしくはゆめバス左回り)で 10 分

市内循環バスの最寄りバス停は「本町緑地公園」です。

■演者の方へお知らせ

<発表に関する事項>

1. 演題は発表 6 分、討論 3 分、演者入替 1 分です。制限時間を厳守ください。
2. 口演発表者は原則として会場設置のノートパソコン(Windows10、PowerPoint2016)をご利用ください。スライド発表中のスライドショー操作は演者ご自身でお願いします。
3. 発表データのファイル名は、【演題番号】 【氏名】としてください。
4. USB メモリは、各自にて必ずウイルスチェックを行ったうえでお持ち込みください。なお、MO・FD・ZIP 等は受付できませんのでご注意ください。
5. Windows 版 PowerPoint でご発表の方は、USB メモリを当日ご持参ください。動画を使用される方、動作表示に不安のある方は1/17 12:00までにmasuika-hashimoto@kumamotoh.johas.go.jp宛にメールに添付していただいてもかまいません。その際は 必ず、問題なかったかの返信をいたしますので、ご確認ください。ただし、作成されたパワーポイントメモリが重い場合は、当方で受信できない可能性があることをご了承ください。事前送信された場合もバックアップ用データをご持参ください。
6. Mac を使用される方は、1/17 12:00 までにmasuika-hashimoto@kumamotoh.johas.go.jp宛にメールにてその由をお伝えください。また、当日はご自分のノート PC、接続用端子、アダプター、変換コネクタ等をお持ち込みください。表示・設定はご自身の責任において行っていただきます。
7. スライド枚数は制限しておりません。
8. 発表のデータは学術集会終了後、事務局で責任をもって消去いたします。

<発表パソコンの設定・動作環境に関する事項>

1. 発表データに使用するフォントは、文字化けやレイアウトずれを防ぐため、Windows 10 に標準搭載されているフォントのご使用をお勧めします。
2. 解像度は発表に使用する PC 全て XGA(1024×768)に統一しますので、ご使用のパソコンも XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。
3. 動画は Windows10 及び Windows Media Player11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。(動画ファイルは WMV 形式を推奨します。)
4. 動画データの形式によっては、ご用意した PC で正しく動作しないこともありますので、バックアップとしてご自身のノート PC 本体もお持ちください。
5. 静止画像は JPEG 形式で作成されることをお勧めします。